


健康登山54:周辺の山27 (湖南 阿星山)

コース	JR石部駅 長寿寺バス停 0.1km/3 登山口 1.0m/42 (2.2km/39 登山口往復)	長寿寺 0.9km/31 展望台 0.4/11 2.0km/29	阿星山 1.4km/30 常楽寺 0.9km/12	林道合流 0.6km/14 大看板分岐 石部高校バス停
水平距離	9.5km	断面図 縦軸: 高度m 横軸: 距離km		
水平換算距離	10.6km			
累計高低差	登り643m、下り674m			
標準歩行時間	3:32			
実績歩行時間	4:35			



山行報告

山行日 2010・5・6 (木) 天候 晴時々曇り 参加者 7名

行動 京都駅8:37 石部駅9:45 長寿寺バス停10:03 山門前登山口10:10 林道合流11:20 登山口11:35 展望台12:20~12:50 阿星山13:10 平甲展望台13:40 大看板14:30 常楽寺15:15 石部高校バス停15:38 石部駅16:10 京都駅着16:51

記録

阿星山の健康登山は4回雨天順延となり、ようやく実行できた。
 石部駅の駅前広場に『歴史のまちいしべ』という案内板があり次のように書かれている。
 いしべは古くから伊勢までの街道として栄え、江戸時代には「京立ち、いしべ泊まり」として賑わった東海道五十三次の五十一番目の宿場町でした。町の北側には野洲川が西流、南側には阿星山がそびえ、山麓には国宝長寿寺と国宝常楽寺があります。
 私たちは長寿寺から阿星山に登り、常楽寺に下山する周回コースを歩いた。
 駅前から石部町内循環バス『めぐるくん』に乗せてもらって長寿寺バス停で下車、長寿寺の山門には阿星山という山号が書かれていた。
 山門前から林道コースと山道コースがある。山道コースを歩いたが枝道が多く、踏み跡をたどって370m地点で林道に合流した。10分ほど歩くと駐車場があり、少し先に阿星山登山口があった。遊歩道のような登山道を登りアジサイの丘を過ぎると、展望台の分岐がある。展望台から近くの三上山や鶏冠山は見えたとが遠景は霞んで見えなかった。
 昼食後、電波塔のある阿星山に登って集合写真を撮影し、少し戻って『西寺平甲約30分』という道標に従って周回コースを下った。眼下の風景と、さわやかな空気に包まれた新緑の森の散策を満喫できた。平甲展望台を過ぎると道は林道になる。林道に誘われて歩いているうちに阿星山登山口に戻ってしまった。駐車場に車を置き、阿星山を周回すると2時間ほどの散策コースになる。私たちは分岐点まで戻り北へ向う谷道を下り常楽寺へ出た。
 帰路は石部駅まで歩く予定だったが、道草をしたのでバスで戻ることにした。地元では長寿寺を東寺、常楽寺を西寺とも呼んでいるようで西寺バス停という名前だった。ちょうど下校時間だったのでバス始発の石部高校前まで歩いた。

周辺の山（湖南 阿星山）



①石部駅前広場
9:24



②長寿寺
10:04



③山道登山口
10:13



④阿星山登山口
林道と分岐
11:37



⑤展望台から
鶏冠山
12:54



⑥阿星山へ向う
13:01



⑦阿星山頂上
13:13



⑧下山道
13:27



⑨下山道からの
風景
13:42



⑩常楽寺の塔
15:23

名所・旧跡ミニガイド（周辺の山：湖南 阿星山）

参考資料 京都滋賀南部の山、ホームページ他より

阿星山：滋賀県湖南市の最高峰の山。693,1m 二等三角点。

山麓に国宝を持つ古刹二つを抱え、山自体も昔は山岳仏教の舞台であった。阿星山の山名は仏教用語の(あ、うん)に由来している。

頂上は、展望は無く、NTT無線中継所が建つ。東は飯道山に連なり、南西は金勝山に相連なる。湖南市のハイキングコースが設定されている。

奈良時代**良弁**によって阿星寺が建立、東の寺に49院を造立され、平安時代末期に西寺の「常楽寺」と東寺の「長寿寺」に別れ今日に至っている。

阿星山は石部金山の銅鉞を紫香楽宮へ運搬する連絡路でもあり、天平時代の文化を往来させた重要な地である（石部町教育委員会より）

長寿寺(東寺)：天台宗。山号は阿星山。本尊は木造地藏菩薩(秘仏)。

本堂は国宝、(平安末期～鎌倉時代)寄棟造り檜皮葺き。境内自由。

良弁が紫香楽宮の鬼門を封じるため聖武天皇の勅願により創建した。

また、聖武天皇に世継ぎがなく、良弁に祈祷せしめ、祈願の結果、間もなく皇女が誕生された。皇女に因む子安地藏を行基に刻ませ、本尊にして、七堂伽藍、24坊を建立長寿寺と名付けた。貞観年間(859~877)に焼失、同年間に復元現在に至る。

平安時代に天台仏教園を形成、「阿星山5千坊」と言はれ、源頼朝、足利尊氏が諸堂を改修したと言はれる。

三重塔があったが、織田信長によって「安土城の摠見寺」に移築された。

白山神社：長寿寺の鎮守。奈良時代に建立された。祭神：白山比咩神。

拝殿は国重文、室町後期の建築、入母屋造り檜皮葺。

板絵の三十六歌仙の扁額は永享八年の(1436)銘がある

常楽寺：山号は阿星山。本尊は千手観音坐像(秘仏)。

近江西国三十三所観音霊場第一番札所。

本堂は国宝、(南北朝時代)木造入母屋造檜皮葺。

三重塔：国宝(室町時代)

重文に涅槃図(寺宝)、浄土曼荼羅図(源信画)、錫杖(良弁愛用)。拝観500円
山門は豊臣秀吉が「三井寺」に移し、「園城寺」の大門となっている。

長寿寺、善水寺とともに、湖南三山の一つに数えられる。

寄り道

良弁(ろうべん)：689～773。東大寺の開山。幼少のとき、近江で母が目を離した際に驚にさらわれ、奈良二月堂の杉の木に引っ掛かっているのを助けられた。30年後母と再会している。聖武天皇に崇敬され紫香楽宮遷都にも関与している。

紫雲の滝：長寿寺の奥の院となっている。「行場の滝」も兼ねている5mの細い滝。

臥竜の森：「日本森林浴の森」100選の一つ。石部駅西約2.5km雨山運動公園の一郭。自然保護の精神を養い、国民健康の増進に役立てることを目的に設定された。他に近畿では、次の11カ所があります。

金勝山(栗東市)	玉置山(十津川村)
くつわ池自然公園(宇治田原町)	大台ヶ原(吉野上北山村)
大江山の森(福知山市)	高田の里(新宮市)
箕面公園(箕面市)	熊野古道(田辺市)
金剛山(千早赤坂村)	赤目四十八滝(名張市)
布引、再度山(神戸市)	

石部宿場の里：雨山運動公園内にある石部宿のテーマパーク。(臥竜の森の近く)
1985年オープン。関所門、農家、旅籠、商家、茶店、蔵など、往時の街並みを再現、建物内部を公開している。(有料320円)

石部宿は東海道五十三次の51番目の宿場です。本陣2、宿62あった。京、石部間は36kmで、「京立ち、石部泊まり」の言葉があり、旅人の行程で、最初に泊まった場所だそうです。

石部歴史民俗資料館：石部宿関連の資料を展示している。(雨山公園内)

吉御子神社(よしみこじんじゃ)：祭神は吉彦命、鹿葦津姫命、吉姫命。

配神；誉田別命(応神天皇)、猿田彦命。

崇徳天皇(在位1123～1142、平安)時代の開創。

現在の本殿は1865年上賀茂神社の旧本殿を移築したもので、大正10年国重文に指定されています。

南1kmに「吉姫神社」がある。吉御子神社に対する女神という関係。

社宝は藤原時代の吉彦命坐像。木造狛犬は南北朝時代の作。

万病に効くという湧水がある。